

# ごとう通信

第 219 号

平成31年3月1日

もちろん個人の受け取り方で違うでしょうが、今年の二月はそんなに苦も無く、割と早く過ぎ去ってくれたなあと感じました。個人的には二月が一番苦手。とにかく寒いのに弱いものですから。ところが、今年に限っては平穩に過ぎ去った感じもします。やはり大雪がなかったせいでしょうね。訪問の移動は自転車なので雪だと大変なんです。とは言え、三月に雪が降ったりすることもありません。このまま春を迎えてほしいですね。



さて、今月行うイベントの打ち合わせで町内会の方とお会

いする機会がありました。また、偶然ですが、高田馬場を拠点として選出されている新宿区区議会議員の方とお話する機会もありました。これらの出会いがとても新鮮でした。僕たち夫婦は新宿出身でもないし、自宅はマンションです。特に拒否したわけでもなく、町内会のお誘いもありません。ここまで来てしまいました。しかも、どんな活動をされているかもよくわかっていませんでした。でも、実際活動されている話を聞くと本当に大変ですが、有意義な活動をされていました。また、区議会議員さんにイベントのお話をしたところ、他の地区の町内会や老人会の方を紹介していただくことになりました。議員さんがこういうコミュニティーと深く関わっておられることも初めて知りました。

高田馬場に住んで20年以上たちますが、とても新鮮な気持ちになりました。

こういう関係をめんどくさいと思う人がいるのもわかりませんが、個人的にはこれからもかわっていいこうと思いました。

## 年号

僕が広島から大学入学のために上京したのは昭和60年4月。来月は新元号が発表されているんですね。不思議な気分です。昭和の終わりは大学4年生で、体育会の会長という役職でした。新年には体育会主催で鏡開きという大きな行事を行う予定だったのですが、天皇陛下のご崩御で中止になったことを覚えています。

さて、日本では西暦も和暦も使用します。文化としてもとても良いことだと思うのですが、使い分けたりしなくてはならないこともあります。いつそのこと西暦だけで…と思うこともありますが、少なくとも医療、介護系の記録では和暦を使用することのほうが多いのです。ちょっと不思議ですが。

今回は天皇陛下御健在の中での退位と即位。なぜまだ元号が発表されないの？正直迷惑でしかありませんよね。昨年末にでも発表しておいてくれたらいろんな準備ができるのに。カレンダーをはじめ、コンピュータなども元号で変わるものがたくさんあります。逆に、1か月やそこからで本当に準備できるのかどうか心配です。

とは言え、どんな元号になるのか

は楽しみでもありません。俺も3つの時代を生きた男になるのか…なんて。

### タベマチ祭り

今月24日(日)午前10時から百人町にある「新宿けやき園」にてタベマチ祭りを開催します。

僕は「最期まで口から食べられる街、新宿」をモットーに活動する新宿食支援研究会のメンバーでもあります。その研究会が主催です。

実は、現代医療は口から食べることを大切にしています。食べられているときは何の問題もありませんが、いざ、高齢で病気になったような場合、「胃ろう」のようにチューブで栄養を取るような方法を宣言されず。僕たちはこれまでそういう

状態になった方を支援し、再び口から食べられるようになった方もいます。しかし、僕たちのような専門職と一般の方たちが接する機会が多くありませんでした。専門職を知らないがゆえに食べられずに亡くなる方も多くいます。そこで、こういったイベントを通してお互いが知る機会になり、どうすれば最期まで口から食べられるのか考える機会になればいいなあと思っています。

ただ、初めてのイベントで、準備は右も左も…という感じです。今回は3時間だけの小さなイベントですが、餅つき大会や介護食品試食会、栄養士が提供する「こども食堂」、障害者の作るパンの販売など食の

トータルイベントです。

お時間ある方はぜひご参加ください。

